

事業報告書

1 法人の概要

1 設置する学校・学科等

羽陽学園短期大学（幼児教育科、専攻科福祉専攻）

羽陽学園短期大学附属鈴川幼稚園

認定こども園羽陽学園短期大学附属鈴川第二幼稚園

認定こども園鈴川第二幼稚園このみ園

羽陽学園短期大学附属たかだま幼稚園

羽陽学園短期大学附属大宝幼稚園

山形調理師専門学校（調理師科、調理高度技術科）

2 当該学校・学科等の入学定員、学生数の状況（平成24年5月1日現在）

羽陽学園短期大学 (人)

学 科 名	入学定員	収容定員	現 員
幼児教育科	100	200	234
専攻科福祉専攻	35	35	38
合 計	135	235	272

附属幼稚園

園 名	定 員	現 員
鈴川幼稚園	220	212
鈴川第二幼稚園	150	114
たかだま幼稚園	150	98
大宝幼稚園	150	89
合 計	670	513

幼稚園保育事業

園 名	定 員	現 員
鈴川第二幼稚園このみ園	15	10
合 計	15	10

山形調理師専門学校

学 科 名	入学定員	収容定員	現 員
調理師科	40	40	37
調理高度技術科	40	80	75
合 計	80	120	112

3 役員・教職員の概要等（平成24年5月1日現在）

役員等

(人)

区 分	定 数	現 員
理 事	7	7
監 事	2	2
評議員	20	20

教職員

(人)

区 分	教 員		職 員
	常 勤	非常勤	常 勤
学園本部	0	0	3
羽陽学園短期大学	16	38	11
鈴川幼稚園	13	1	3
鈴川第二幼稚園	10	0	3
鈴川第二幼稚園このみ園	3	0	0
たかだま幼稚園	8	0	4
大宝幼稚園	9	0	2
山形調理師専門学校	9	14	2
合 計	69	53	28

2 事業の概要

1 主な事業の目的・計画及び進捗状況

[学園本部]

- ・ 鈴川第二幼稚園敷地内に認可保育所「このみ保育園」を開設し、平成25年3月29日付けで認可されました。併せて、鈴川第二幼稚園とともに幼保連携型認定こども園として、平成25年4月1日付けで認可されました。

[羽陽学園短期大学]

- ・ 高等学校との進学懇談会を、次のとおり開催しました。
短大会場：6月5日、9月4日 酒田会場：9月6日 仙台会場：6月5日
- ・ 学生募集対策として、県内59校、県外39校を訪問するとともに、オープンキャンパスを4回実施し、大学の広報宣伝に努めました。
オープンキャンパス：5月13日、7月22日、8月19日、9月30日
- ・ 公開講座
「音楽を創る I ～井上ひさしを歌おう～」をテーマに11月17日及び11月18日の二日間公開講座を開催しました。
- ・ 東日本大震災被災学生に対する支援
①平成24年度から26年度までの受験生に対して、入学検定料を全額免除
②平成24年度から26年度までの入学生に対して、入学金及び授業料を全額免除、並びに委託寮の賃料を全額支給
- ・ 地域イベント、町づくり事業への参加
天童夏まつり創作神輿参加（ASHINAMI）
「子育て応援団すこやか2012」への参加
老人ホームでの演舞を披露（ASHINAMI）
サッカー「モンテランド」における子育て支援（ホームゲーム）
- ・ 介護技術講習会（土日開催）
第1回：5日間 第2回：5日間
- ・ 千人の力「人間オーケストラ同窓会」
10年前開催した「人間オーケストラ」をその同窓会と銘打って本学講堂で350名の参加者を得て開催。応援タレントは、歌手の森 公美子氏でした。この模様は、NHKBSプレミアムで3月16日に放映されました。
- ・ 教員免許状の更新講習会
教員免許状更新講習会を8月に5日間開催。延べ受講者209名。

[附属幼稚園]

- ・ たかだま幼稚園が創立40周年を迎え、平成24年10月27日に天童市長はじめ85名の関係者の参加を得て、「たかだま幼稚園」において記念式典・祝賀会を開催しました。
- ・ 平成24年度も保護者の要望に応え、羽陽学園短期大学附属4幼稚園において、それぞれ次の県メニュー補助事業の申請・採択を受け、①預かり保育推進事業 ②教員の資質向上対策事業 ③きめ細かな保育の推進事業のほか、鈴川幼稚園においては、④地域開放推進事業を実施いたしました。

[山形調理師専門学校]

- ・ 学生募集については、一日体験入学に延べ90名の参加者があり、定員を上回る応募を期待しました。実際には、調理高度技術科は、定員を確保しましたが、調理師科は31名にとどまりました。
- ・ インターンシップの実施や職場開拓を継続し、就職希望者は1名を除き就職することが出来ました。
- ・ 校内作品コンクールに「JAやまがた」の協賛を得て、食材提供や広報活動が有効に活用できました。
- ・ 平成28年度に山形県で開催される「技能五輪全国大会及びアビリンピック2016」の会場に選定されました。

2 進路状況

- ・ 羽陽学園短期大学において、進路決定率で幼児教育科100%、専攻科福祉専攻100%の成績を収めました。
- ・ 山形調理師専門学校において、調理師科97.0%、調理高度技術科100%の就職率です。

3 土地、建物等の状況

- ・ 土地の取得
鈴川第二幼稚園敷地（法定外公共物）の購入
鈴川第二幼稚園西側用水路と園地の間の市有地を購入
面積：133.73㎡
- ・ 建物の取壊及び新築
大宝幼稚園
車庫の取壊（平成25年3月）
車庫の新築（平成25年3月完成）

4 施設・設備の整備状況

羽陽学園短期大学	図書館棟外壁袖壁修繕、本館棟東側非常口SD修繕、 体育館屋根塗裝修繕、痰吸引シュミレーター人形
鈴川幼稚園	遊戯室屋根カバー工法及び外壁塗裝修繕
鈴川第二幼稚園	職員用駐車場、西玄関改修工事、フェンス改修工事、 雨水排水工事
たかだま幼稚園	外壁他改修（40周年事業）、FF暖房機9台更新
大宝幼稚園	駐車場・通路アスファルト舗装、園バス2台更新

5 認定こども園このみ保育園整備について

- ・ 建設工事实績 398,769千円
- ・ 財源内訳
山形市補助金 6,950千円（平成23年度）
" 117,363千円（平成24年度）
" 59,297千円（平成25年度以降）
共同募金会補助 700千円
自己資金 214,459千円

3 財務の概要

1 資金収支計算書

収入の部合計、支出の部合計は予算額より4百万円減少となっています。

収入の部では、地方公共団体補助金収入及び資金収入調整勘定（期末未収入金）

59百万円は交付額の決定がありましたが、交付時期が翌年度以降に確定なることから予算未消化となりました。授業料等の全額納入者の減少による前受金3百万円が主な収入減少原因です。

支出の部では、このみ保育園に係る施設設備費は補助金と自己資金で行いましたが、次年度繰越支払資金は前年度より56百万円減少にとどまりました。

2 消費収支計算書

附属幼稚園の園児数は増加したものの、短期大学の学生数が減少したため学生生徒納付金は36百万円減少しました。補助金の111百万円増加は、このみ保育園の施設整備について山形市より117百万円の補助金がありました。基本金組入額

482百万円のうち410百万円がこのみ保育園に係る施設設備費となっております。そのため消費収入の部合計は大きく減少し、翌年度繰越消費支出超過額が増加しております。支出の部では、人件費を抑制し、教育活動を充実しました。

(単位：千円)

科目	平成23年度	平成24年度	増減
学生生徒等納付金	572,469	535,745	△ 36,724
手数料	7,479	7,422	△ 56
寄付金	9,796	6,511	△ 3,285
補助金	219,357	330,529	111,171
資産運用収入	3,771	4,333	562
資産売却差額	0	778	778
事業収入	49,289	49,302	12
雑収入	39,239	4,635	△ 34,603
帰属収入合計	901,404	939,259	37,854
基本金組入額合計	△ 56,923	△ 482,023	△ 425,099
消費収入の部合計	844,480	457,235	△ 387,244

科目	平成23年度	平成24年度	増減
人件費	535,329	532,987	△ 2,341
教育研究経費	217,816	233,100	15,284
管理経費	44,229	52,954	8,724
借入金等利息	6,238	6,076	△ 161
資産処分差額	970	278	△ 692
徴収不能額	0	713	713
消費支出の部合計	804,584	826,112	21,527
当年度消費支出超過額	△ 39,895	368,876	328,980
前年度繰越消費支出超過額	1,512,203	1,464,595	△ 47,608
基本金取崩額	7,712	0	△ 7,712
翌年度繰越消費支出超過額	1,464,595	1,833,472	368,876

3 貸借対照表

資産の部は前年度より91百万円の増加となっています。有形固定資産の増加は、このみ保育園の施設整備によるもので、その他の固定資産（長期性預金）及び現金預金の減少は、このみ保育園の施設整備を補助金と自己資金で行ったことが要因です。

負債の部は前年度より21百万円の減少となっています。借入返済も順調にすすんでおります。その他の流動負債はこのみ保育園の設備等の未払金です。